



東海村社会福祉協議会が目指すもの
かけがえのない一人ひとりの想いと
行動を紡ぐまちづくり

東海村社会福祉協議会だより

2023.May 25

Vol.107



特集

感謝の気持ちから始まった
地域への恩返し

ホームページ



広報紙に関する
アンケートに
ご協力ください



今号から特集記事として、地域で活動いただいている方や団体等を掲載していきます。

今回は、村社協に毎週野菜を寄付していただいている佐藤 房明さんにインタビューをしました。

寄付を通じた佐藤さんの想いを伺いました。



Q 野菜はいつごろから作られていますか？

自分の農地を持ち40歳頃から始めました。最初は、インゲンから始め、今は3ヶ所の畑で野菜を作っています。毎日、畑か趣味の釣りに出かけとても充実しています。

Q 寄付をしていただくきっかけを教えてください。

民生委員・児童委員を辞める時に、村社協職員から「食の支援が必要な方のために野菜を提供してもらえないか」と相談があったのがきっかけです。父親が早くに戦死したので、色々な人にお世話になりながらこれまで生活してきました。そういうお世話になった人達へ感謝、恩返しのお気持ちも込めて、野菜を寄付しています。

Q 寄付を受け取った方への想いをお聞かせください。

こういう活動が、人のつながりを生み、いろいろな人達に引き継がれていくことを願っています。また、子どもたちにはいろいろな体験をして成長してほしいです。毎年自分の畑で芋掘り体験をしてもらっています。

Q 最後に、地域の皆さんに伝えたいことはありますか？

人を思いやり、日頃からお互い様と言えるような関係づくりができればいいのではないかと思います。今後も今の活動を無理せず長く継続していきたいと思えます。

寄付で「つながる」「ひろがる」地域の輪

—寄付はこのように活用しています—

寄付募集

支援を必要としている世帯等に対して、食料品や日用品等を提供することにより、食事や生活の安定を図ります。また、世帯等とのつながり通して、適切な支援につなげることを目的としています。

(寄付の詳細は6ページをご覧ください)



年間を通じて住民・農家・企業をはじめ、多くの方々から寄付をいただきます。

寄付の活用

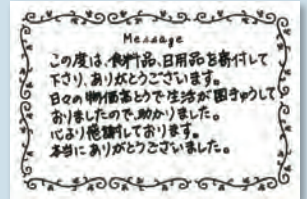
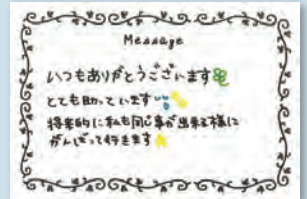


▲子ども食堂等に野菜等を提供し、調理いただく



▲フードパントリーにて食料品や日用品等を配布

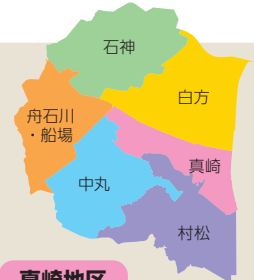
利用者からの
ありがとうメッセージ



いただいた寄付は村社協が行う事業や支援に役立てています

地域づくりを応援！ 私たちが地域支援担当職員です

東海村では、地区社協活動やサロン、ボランティア団体など、さまざまな地域活動が行われています。村社協では、地区社協が置かれる6つの小学校区エリアに、それぞれ地域支援担当職員を配置し、地区社協をはじめとする各団体の活動に関する支援や、生活上での困りごとを聞き、解決に向けた支援を行っています。今回は、令和5年度の地域支援担当職員を紹介いたします。



石神地区 中丸地区



かわかみ ゆり
川上有里

さまざまな方が集える居場所づくりの立ち上げ支援を行っています。活動形態の変更や新たに活動したい方は、既存の居場所をまずは一緒に見学してみませんか？



おおもり りな
大森利奈

白方地区 真崎地区

全世代型の福祉教育を担当しています。大人向け・地域活動者向けの出前講座もありますので、地区社協事業やサロンなどで活用できるようにサポートいたします！

舟石川・船場地区 村松地区



おぐら たかひろ
小倉貴博

ふれあい・いきいきサロン団体の活動支援を担当しております。新規立ち上げや活動に関するご相談はお任せください。



おおうち ともひろ
大内智弘

支え合いコーディネーター

各地域支援担当職員の総括を担っております。各職員ともボランティア支援や福祉教育にも携わっておりますので、気軽にご相談ください。



▲地域での出前講座の様子

地域の出前講座で行っている寸劇の内容を動画にしています。地域活動を行うときに起こりそうな身近な課題について取り上げ、一緒に考える内容となっています。寸劇の内容も数パターン用意していますので、ぜひお声かけください。



▲動画での寸劇の様子



東海村社協チャンネル



問い合わせ/地域福祉推進係 ☎(282) 2804

東海村に暮らす誰もが輝ける地域を目指して

～令和5年度村社協の取組みを紹介します～

会長あいさつ



令和5年度の年度冒頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
新型コロナウイルスの状況もだいぶ落ち着き、いよいよウィズコロナ時代に入ってくるという予感がしております。

本当にこの3年間は、厳しく大変な日々でした。とりわけ地域の皆さまからは、経済的な苦しさだけではなく、人と人との関係が希薄化することによる寂しさ、将来への不安などさまざまな悩みが寄せられてきました。

そうした悩みや心配ごとに対し、我々村社協もできる限り応えるべく、取組みを進めてきました。

コロナ禍で失ったものもあります。しかし、新たに生まれたつながりや取組みもたくさんあります。村社協は、令和5年度も地域の皆さまとともにしっかりと歩みを進めてまいります。

引き続きのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 東海村社会福祉協議会 会長 中村 正美

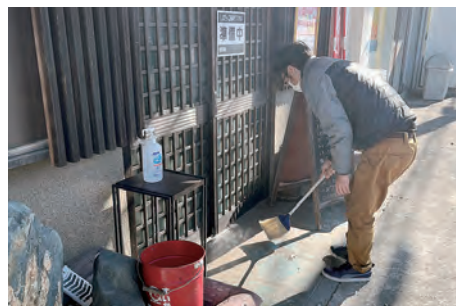
令和5年度実施事業（一部抜粋）

地域住民同士の対話の場をつくり、東海村に必要な社会資源を考えたり構築したりします



地区社会福祉協議会協働事業／地域支え合い体制整備事業

社会に出るまでのステップとして企業等と連携し、職場体験などの社会参加の機会を創出します



参加支援事業／アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

新たな人材の発掘を行うとともに、ボランティア活動をしたい人・お願いしたい人（団体）のマッチング機能を高めます



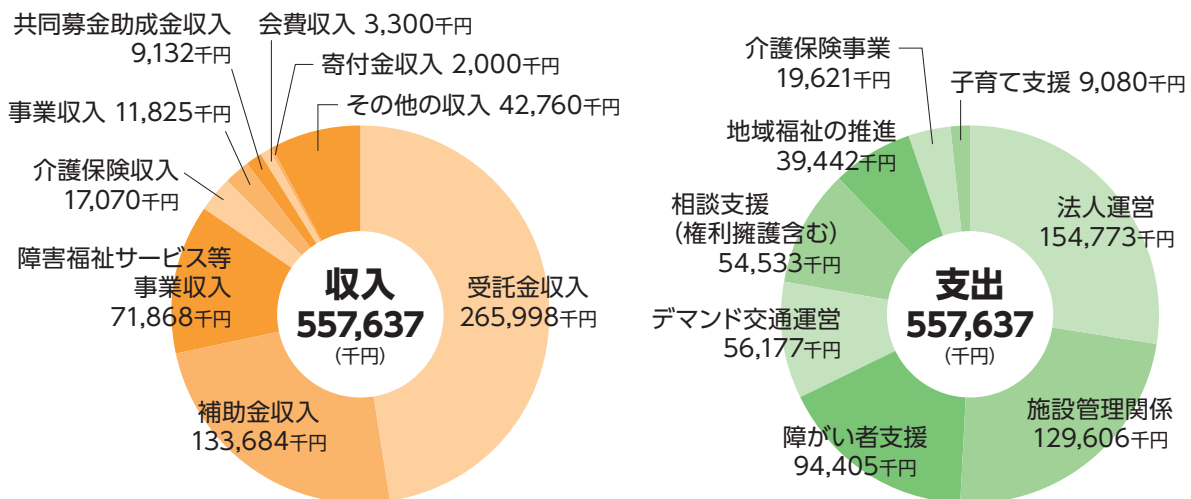
ボランティア・市民活動センター事業／福祉活動者人材・育成事業

住民の善意により、寄せられる物品と金銭を受け付け、地域福祉活動の支援や地域生活課題の解決を行います



善意銀行運営事業

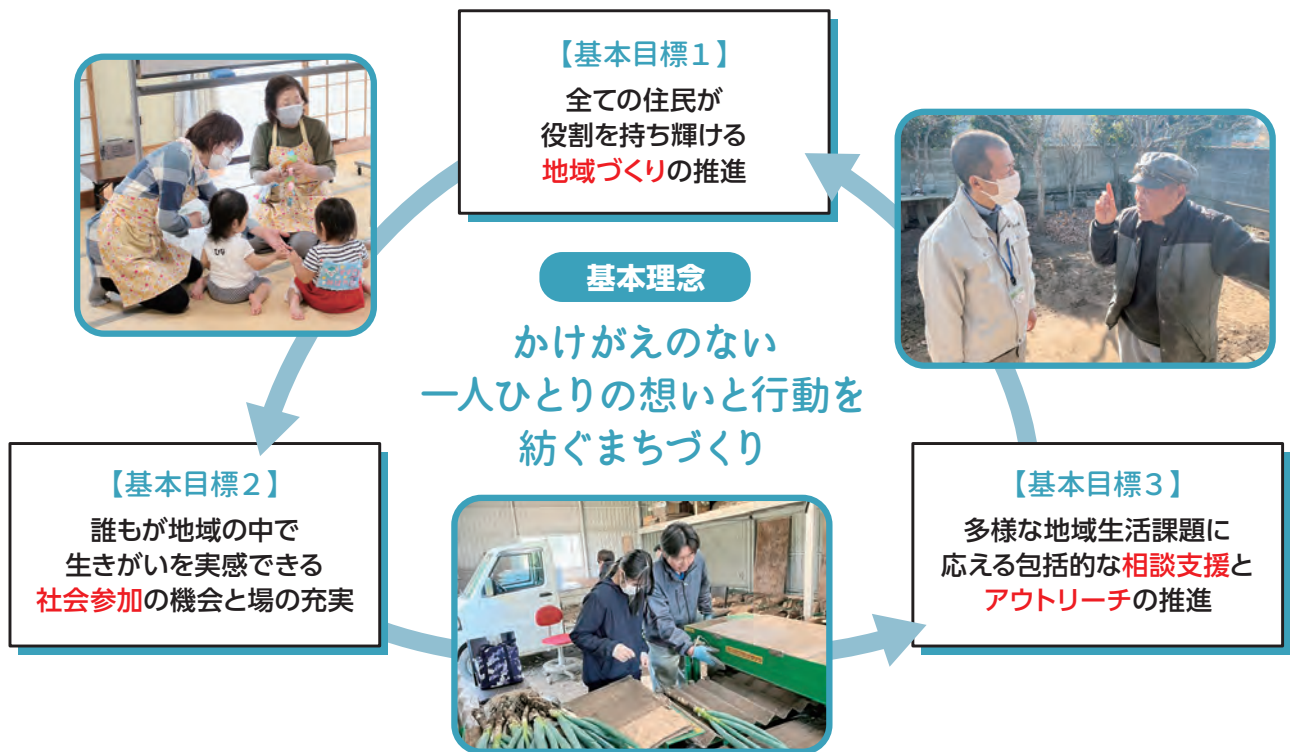
令和5年度予算



東海村の5年先を見据えた幸せの道しるべ

村社協では第5次東海村地域福祉活動計画を策定し、令和5年4月からスタートしました。地域福祉活動計画とは、地域住民や民間団体が主体となって、東海村の地域福祉を計画的に推進するための「道しるべ」です。この計画は住民や関係者が協働して作り上げていくもので、策定にあたっては村内の住民代表者をはじめ、行政関係者や村内外の社会福祉関係者、医療関係者が参画しました。

本計画は基本理念である「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」を具現化するために3つの基本目標を掲げ、5年後の目標の達成に向けて活動を進めていきます。



寄付報告(2・3・4月)

皆さまからお寄せいただいた善意は、村社協が行う福祉事業や食糧支援に役立てています。

※敬称略・順不同

とうかい明日への架け橋基金募金

※この募金は東海村の子どもたちのために活用されます。

ご芳名	預託金(円)
佐藤 勝廣	8,000
(株)美豊コンサルティング	100,000
岩本 清吉	5,000
匿名 1名	50,000

善意銀行 金銭の部

ご芳名	預託金(円)
早稲田大学校友会茨城県支部・茨城三田会	100,000
東海村文化協会 山草連盟	10,000
水戸 友の会	3,000
松本 健吾	20,000
益子 久子	5,305
川崎 厚史	1,000
傾聴ボランティア あおぞら	2,594
川崎 敏秀	33,250
匿名 4名	8,957

善意銀行 物品の部

ご芳名	預託品	活用先
三上 真粧美	洗濯洗剤	生活支援ネットワーク係
益子 久子	衣類、靴下、文具類、日用品、財布	生活支援ネットワーク係
岡田	ミキサー、さらし	障がい者センター
鈴木ハーブ研究所	タオル、傘、日用品	企画総務係
永井 徹	タオル	生活支援ネットワーク係
川井 香屋子	村内小学校ジャージ	企画総務係
小泉 毅	下着類	企画総務係
武藤 真紀子	大人用紙おむつ、生理用品、CD	居宅介護支援事業所 障がい者センター
匿名 26件	子ども用シューズ、日用品、衣類、下着類、タオル類、消毒液、マスク、生理用品、ウェットティッシュ、DVD プレーヤー、制服、洗剤類、ハンカチ、ストッキング、敷きパッド、絵本、積み木、シーツ、ベビーベッド、オセロ、おもちゃ類、村内中学校(カバン・制服・柔道着)、高校制服、災害用品、子ども用法被	地域福祉推進係 生活支援ネットワーク係 障がい者センター 児童センター 企画総務係



早稲田大学校友会茨城県支部・茨城三田会様よりご寄付をいただきました



(株)美豊コンサルティング様よりご寄付をいただきました

使用済み切手・ベルマーク・未使用テレフォンカード・未使用はがき・書き損じはがきなど

ご芳名
文化シャッター日立販売(株)、吉成 智枝子、坪 ひろみ、(株)堀田電機製作所、新島 一樹、東海村(消防団女性部・生涯学習課・総合相談支援課)、東善房、橋本機工金物(株)、三国屋建設(株)東海支店、パルシステム茨城栃木なかセンター、益子 久子、篠原 登、全日本年金組合東海支部、(株)せいみや、手話サークル こでまり、中丸小学校、緑ヶ丘区おいデマンド、山岸 妙美、東海MMC、友部 孝子、茨城キリスト教学園、(株)葵テック、(有)伊藤工業、匿名(9件)

フードバンク

ご芳名
佐藤 房明、益子 久子、永井 徹、佐藤 昌男、川崎 一希、豊島 昭男、一富士フードサービス(株)、エーテック(株)、カーブスイオン東海、(株)鈴木ハーブ研究所、長松院、地域防災活動支援協議会、友部 孝子、きずな BOX(役場・商工会・イオン・絆)、匿名(26件)

寄付を募集しています!!

※ご寄付いただける場合は、事前にご連絡ください。

※事前に連絡がない場合、直接お持ちいただいてもお受けできないことがありますのでご了承ください。

募集内容	希望部署
● ハンドタオル ● てぬぐい ● 本(幼児・小学生向け) ● 綿シーツ	児童センター
● シーツ ● バスタオル ● Tシャツ ● アイロンビーズ ● ゲームソフト(Wii、スーパーファミコン、接続コード) ● プラレール	障がい者センター
● 赤ちゃん用絵本 ● おもちゃ(幼児向け) ● ハンディクリーナー(美品) ● カラーボックス(美品) ● トランプ、ウノ等のカードゲーム ● ボードゲーム	地域福祉推進係

募集内容	希望部署
● スウェット(大人用未使用品) ● パジャマ上下(大人用未使用品) ● 生理用品(未開封) ● 東海中ジャージ	生活支援 ネットワーク係
フードバンク ※未開封で賞味期限が2か月以上残っているもの ● 米(もみ付き) ● 調味料 ● 粉ミルク ● ベビーフード ● インスタント食品・レトルト食品 ● ギフトパック(お歳暮・お中元など) ● カップ麺	

「フードバンク」とは、いただき物や買いすぎしてしまったものなど、ご家庭に眠っている食品を集め、食の支援を必要としている方へお渡しし有効に活用する活動です。

問い合わせ/企画総務係 ☎(282) 2804



←メールはこちらから

あなたの思い出の品が東海村の福祉を支えます

～ 本などの寄付を募集しています ～

思い出のある本や、もう読まなくなってしまった漫画などはありませんか。

村社協では「SDGsなとうかい寄付バンク」として、本などを福祉の活動に役立てる活動を始めました。皆さまの思い出の品が、東海村の福祉を支える資金になります。

寄付できるもの

書籍・漫画・コミック・CD・DVD・Blu-ray・ゲームソフト

寄付の方法

いずれかの方法で受け付けています



① 村内の公共機関等に設置されているボックスに入れる

ボックス設置場所：東海村役場、東海村立図書館、歴史と未来の交流館、アイヴィル各コミュニティセンター、常陽銀行東海支店、ウエルシア東海舟石川店

② 自宅から集荷を依頼する

左のQRコードを読み取ると、集荷の申込みフォームが出ます。必要事項を記入していただくと、ご自宅まで配送業者が集荷にきます。ご自宅にある不要な段ボール等に詰めてお渡しください。

③ 東海村総合福祉センター「絆」に持参する

いただいた本などの寄付は、ブックオフコーポレーション(株)が運営する「キモチと。」を活用して寄付金に生まれ変わり、子育て支援や食料支援等、東海村の地域福祉活動へ活用します。



あなたの想いを次の世代へ託すという選択

～ 遺贈の受入をスタートしました ～

遺産を役立てたい先に寄付する「遺贈寄付」。村社協では、令和5年4月1日から遺贈の相談・受け入れをスタートしました。

遺贈とは・・・

個人が亡くなったとき、遺言によって財産の全部または一部を、民間の非営利団体等(村社協も含まれます)に贈ることをいいます。

相続財産寄付とは・・・

相続により取得した財産の全部または一部を寄付することをいいます。

あなたの想いを
東海村のために
のこ
「遺す」という選択を

遺贈寄付の流れ



ご相談

遺言の内容と遺贈先となる受遺者をお決めになるにあたり、村社協を受遺者に考えている場合は、事前にご相談ください。



遺言執行者の決定

財産の引き渡しや登記などの手続きを行う「遺言執行者」をお決めください。弁護士・司法書士などの専門家・専門機関の指定をおすすめいたします。



遺言書の作成

遺言書には「公正証書遺言」や「自筆証書遺言」があります。寄付の金額や遺贈の割合は「遺留分*」に十分ご配慮の上、ご指定ください。



遺言の執行(遺贈)

遺言者をご逝去され、遺言執行者に連絡がいくと、遺言執行者が遺言書に基づき正式な手続きを行います。



受領書の送付

村社協から遺言執行者あてに受領書を発行します。

*「遺留分」…配偶者や子、親などの相続人に最低限度保証された相続財産の受け取り分のことをいう。



問い合わせ/企画総務係 ☎(282) 2804



相談窓口 あなたの悩みをお聞きます



総合相談

- 日 時：月～金曜日
午前8時半～午後5時15分
- 相談員：社協職員、社会福祉士等
弁護士・行政書士
- 会 場：「絆」相談室

生活上の心配ごとや困りごとについて相談に応じます。電話・匿名での相談も可能です。

※行政書士・弁護士などによる専門相談は事前予約が必要です。

LINE相談



- 日 時：(相談受付) 随時
(返信) 月～金曜日
午前8時半～午後5時15分
- 相談員：社協職員、社会福祉士等

直接話しづらい方や家族に相談内容を聞かれない方は、LINEでの相談に応じます。QRコードからご登録ください。



就労体験相談会

- 日 時：第4木曜日
午後1時半～3時半
- 相談員：下記NPO法人職員
- 会 場：「絆」相談室

ひきこもりがちな方の就労や社会参加に向けた相談に応じます。事前予約が必要です。

予約申込み

茨城NPOセンター・コモンズ
☎(291) 8990

申込み・問い合わせ／生活支援ネットワーク係 ☎(283) 0205

みんな
あつまれ

第20回ふれあい福祉まつり開催!

「ふれあい福祉まつり」は、村内を拠点に福祉活動をしている市民活動者や団体が一堂に会し、障がい者の方や子どもから高齢者までの地域住民との交流の機会を設けることを目的に開催しています。詳細は同日配付のチラシをご確認ください。

【開催日時】令和5年6月3日(土) 午前10時～午後2時半 ※雨天決行・荒天順延

【場 所】東海村総合福祉センター「絆」



前回の
ふれあい
福祉まつりの
様子

問い合わせ／ふれあい福祉まつり実行委員会事務局(地域福祉推進係) ☎(283) 4538

もぐもぐお届け便をリニューアルします!



児童扶養手当を受給している世帯に対し、定期的に食料品等をお届けする『もぐもぐお届け便』をリニューアルいたしました。対象世帯や定員、宅配期間を見直し、より多くの方がご利用できるようにいたしました。下記に該当する世帯の方は、ぜひお申込ください。

対象世帯

次の(1)～(4)に該当し、かつ(5)～(7)のいずれかに該当する世帯

- (1) 東海村に住所を有する世帯
- (2) 生活保護を受給していない世帯
- (3) 18歳未満の子どもを養育している世帯
- (4) 社協会員(特別会員)に加入している世帯
- (5) 児童扶養手当受給世帯
- (6) 東海村における「要保護及び準要保護児童生徒就学援助制度」を利用している
- (7) 生活福祉資金貸付制度の利用歴がある世帯

定 員 50世帯

宅配期間

令和5年6月から令和6年3月末まで(原則第4水曜日)

申請期間

令和5年5月25日(木)～令和5年6月9日(金)

その他

- ・既に『もぐもぐお届け便』をご利用いただいた方も申請することができます。
- ・定員を超える申し込みがあった場合、抽選とさせていただきます。
- ・社協会員(特別会員)は1口1,000円で、東海村社会福祉協議会の窓口でいつでも加入できます。

申請方法や宅配内容などについては、東海村社会福祉協議会のホームページをご確認ください。



問い合わせ／生活支援ネットワーク係 ☎(283) 0205

発行

社会福祉法人 東海村社会福祉協議会

〒319-1112 東海村村松2005
Tel. 029(282) 2804 Fax. 029(283) 4535

社協だよりは、共同募金の助成金により年に4回発行しています

